臨床実習Ⅴ　学生到達度表

北海道医療大学リハビリテーション科学部

理学療法学科４年　学生番号		学生氏名	
実習施設名		実習指導者氏名	
実習期間	自　　年　　月　　日　～　至　　年　　月　　日　　日間		

【学生到達度の指標】

A：　目標を十分に達成できた
B：　目標を概ね達成できた
C：　目標は最低限達成できたが、今後の努力を要する
D：　目標は達成できなかった

a：　助言を必要とせずできた
b：　わずかな助言によりできた
c：　しばしば助言が必要であった
d：　繰り返しの指導が必要であった
e：　繰り返しの指導をしても困難であった

臨床実習Ⅴの到達目標に関する評価

1	介護保険制度等における実習施設の位置づけや特徴、類似施設との相違、さらには理学療法士の配置要件等について説明することができる。	A　B　C　D
2	ケアプランの構成や作成の手順について説明することができる。	A　B　C　D
3	利用者に関係する諸会議に参加し、会議の意義や目的、理学療法士の参画意義について説明できる。	A　B　C　D
4	対象者の移動動作や移乗動作等における介助場面に同行し、積極的に見学あるいは部分的体験を実践することが出来る。また、活動や参加の拡大に向けた理学療法士の他職種との連携意義を説明することが出来る。	A　B　C　D
5	見学あるいは体験した内容、結果、評価などについて、専門用語を使用し簡潔で客観的な表現を用いて記録できる。	A　B　C　D
6	医療従事者を目指す学生としてふさわしい行動ができる。	A　B　C　D

医療従事者としての行動に関する到達度

1	ふさわしい整容や服装	a　b　c　d　e
2	関わる方々との適切な挨拶やコミュニケーション	a　b　c　d　e
3	積極的な実習への取り組み	a　b　c　d　e
4	適切な報告・連絡・相談	a　b　c　d　e
5	実習施設の規則遵守	a　b　c　d　e
6	知り得た情報（含・個人情報）の適切な取り扱い	a　b　c　d　e

実習を通じた学生の取り組みで、優れていた点や実習中に目立って向上したことについてご記入ください。
特に重視した指導内容や経験させ得たことがあればご記入ください。
今後改善が必要な点、さらなる努力を期待する点についてご記入ください。

年　　月　　日

実習指導者氏名　　印